

共に生きる女と男のセミナー

平成25年10月26日
藤久保公民館

《テーマ》『女社長ライフスタイル♪目標を形に…』

今年三芳町で輝いて活動している竹島美香子さんにそのライフスタイルについてご講演をお願いした。

若い頃フリーターとしてさまざまな職業を経験し、その中で興味のある仕事に出会い、ゴルフとバスのコラボ、バスパックを企画し高い評価を受けたこと、2人目を妊娠中に大型2種の免許を取ったこと、こうした積極的な行動が夫や親戚から「とんでもない嫁」と避難され離婚、子持ちで働く大変さを経験しながらも、前向きな意識と行動が今の旅行業につながり会社を立ち上げたと語る。

経済成長率が高い国は女性の就業率は高いというデータがある。

女性が経済力を持てば消費につながる。しかし、日本では専業主婦を希望する女性も多く、女性の社会進出の困難さについて次のように話された。子供がいるから働けないとは思えない。しかし、男性と同じには働けないことを自覚しながら会社を選ぶ。子育ては一人ではない。ママ友の助けや保育所なども活用しながら、女性特有の柔らかさを活かしていくことが重要と語った。自分が学んできたABCモデル、A(条件)、B(行動力)、C(結果)を部下の育成や子育てに使う。例えば部下の提案に対してA上司は『こんなのだめだな。違うのを考えてこい』と言えば1つしかでない。B上司の『いいねえ。もっとない?』と発想をほめれば部下の提案は次々出てくる。このABCモデルを子育てにも使う。

最後に語った「面倒くさい」と言わない。できるけどやらないが面倒くさいだからという話が印象に残った。7年後のオリンピック関連の仕事をしたいという竹島さんの夢にエールを送りたい。(横山)



株式会社 MGC
代表取締役 竹島 美香子さん

…アンケートより…

とてもためになるお話でした。女性でも、頑張れるのだなあと思えるお話でした。

(30代女性)

身近な所で活躍している人が沢山いるんだなあと感じました。

(40代男性)

夢を沢山持つこと(小さい夢が集まると大きな夢になる)という言葉は印象に残りました。

(70代女性)



山田 パンダさん
(ミュージシャン・子どもサポーター・小学校非常勤講師)

ヒューマンフェスタ2014

平成26年2月7日
文化会館 コピスみよし

《テーマ》『生命の尊さを見つめよう ~大人と子ども、おなじ輪の中に~』

サザエさん、ドラエモンのテーマソングで講演会が始まりました。サザエさん一家こそ今日のテーマにぴったり、ドラエもんも子どもの夢がいっぱいです。

山田パンダさんが子どもサポーターとしての活動を通して子ども目線で見たときに、幼稚園・小学校・世の中の動きが子どもに対して寛容でないという事です。例えば、公園には大きな声を出さないで下さいという看板があったり、運動場の子どもたちの声がうるさいと苦情があったり、能率・効率が最優先で、世の中は便利になっているが、何か忘れていてはないかと思う。外から帰った子どもを一日元気で何よりも、とりあえずハグしてあげると子どもの気持ちを感じることができる。抱きしめることも大事なことのひとつです。自分の子ども時代のわんぱくぶりを話されながらも子どもに優しい住みやすいことが一番でないかと、又そうしていかなくてはならないと語られました。

山田パンダさんの人柄で会場は優しさに包まれ、青春の一コマを思い出される70年代の歌も一緒にくちづさみ幸せな時間を会場全員で共有できました。(神奈川)

日本女性会議《男女共同参画》2013あなん

…いきいき わくわく 小さなまちから新たなステージ!…

平成25年10月11日~12日・徳島県阿南市



市民・企業・行政が、協働のもと男女共同参画で運営する「あなん方式」で30回目の節目を迎えた記念大会は、女性が抱える問題の解決を図るのではなく、男女が尊重し合うより良い社会について考えるがテーマとなった。「女性しか参加できないと思っていた…」この日本女性会議、大会始まって以来男性参加者が全体の2割を占めた。

阿南名誉市民第1号は、紅露(こうろ)みつ氏、日本初の女性代議士(昭和21年~43年)女性の向上に男性の協力を切望し、女子教育問題等23年間に渡り国会で活躍された。

10年もの歳月をかけた阿南大会開催への想い、スタッフからの募金3,500円からのスタートだったことなどを知り熱いものがこみあげた。現在28団体・約5,000名が加入する「阿南女性協議会」の活躍等女性の大きなパワーを感じた。

交流会に向かうバスの中で、新聞紙で作った「エコバック」の話をつた。阿波踊りの大会記事の新聞を増刷し、記事が前面に載る様に作ったとのこと。交流会では、特産の太い竹を割った器に盛られた沢山の料理をいただきながら、全国からの参加者との交流に時を忘れた。暖かいおもてなしの中で、参加者は大いに語り、笑い、踊り、最後に会場全体が一大阿波踊り会場と化し盛り上がった。外に出ると、地元女性花火師による大輪の花火が阿南の夜空を彩り、心に残るひとときだった。

…阿南大会取り組み方針…

- ① できる限りの手作り企画
- ② 経済・財政状況を勘案し、身の丈にあった開催規模
- ③ 阿南の特色を生かし「おもてなしの心」で迎える
- ④ 地方都市の元気を全国に発信

「ちいさな町の大きなちゃれんじプロジェクト」…

私たちに多くの感動と“やる気”を奮い立たせてくれた阿南大会でした。

(志村・浜砂・丸山)



「エコバック」

テーマ

2014日本女性会議…

「未来の景色は、わたしたちが変える」

札幌市で開催!

男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

平成25年6月28日
メルパルクホール東京

《テーマ》いまこそ、女性の活躍を!

~みんなで考え、みんなで変える~

“紅一点じゃ、足りない。”

平成25年度「男女共同参画」キャッチフレーズ

『女性の活躍が切り拓く日本の未来』と題し、坂東眞理子 昭和女子大学学長の講演が行なわれました。安倍政権が成長戦略の柱として、「女性の活躍推進」を打ち出した。働く女性の中でリーダーとして活躍する女性の割合が非常に低い日本、“感情的”“危機に弱い”“最後に責任を取らない”など女性リーダーに対する偏見があるのも事実だが、チャンスすら与えられず、経験を積むことができないという状況も発生している。女性も男性も、職場で成長するためには、“機会があり”“鍛えられ”“期待して”という3つの「き」が必要と話された。

女性が社会の一員として、リーダーとなり社会を支えるために「ガールズ ビー アンビシャス…大志を抱け…」とのメッセージが強く心に残った。

仲間を信じ、自分に自信を持ち、臆せず一歩前へと歩んでみようと思う。

(志村・鈴木・丸山)